## 令和3年度 日野南地域ケアプラザPDCAシート、公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

·総括表—

されることを期待します。

事第	削	·····································	
	地	或の現状と今後の方向性	
支した起しなま	がる組のした。	福の影響で包括の相談ケースが増えている。日野地区、日野南地区とも多問題ケースが多く、本人支援に止まらず家族まで視野に入れた必要であり、ますます専門職や地域の方々との連携が必要となっている。両地区ともコロナ感染症予防のため例年実施してきた活動を休止らことが多いが、高齢者の孤立化や活動低下による心身へのマイナス面を考慮し、コロナ収束後の状況も視野に入れて、活動の再開に向け組みも始まりつつある。活動休止の間、民生委員、地区社協、自治会等の地域活動組織では既存の仕組みの見直し、新たなニーズの掘りりため意欲的に意見交換をすると共に、会館開放や健康づくりの会等を開催している。、これまで地域活動を支えてきた方々が高齢化しているため、若い世代に担い手を広げて行くことが引き続きの課題である。、これまで地域活動を支えてきた方々が高齢化しているため、若い世代に担い手を広げて行くことが引き続きの課題である。介護保険サービスの隙間を埋める既存の活動や、新規で創設される集い等を続けていけるよう、ケアプラザ内の各専門職が情報収集を行フォーマルサービスを支援に活かしながら地域との連携を深めることが不可欠である。	
	今年	年度の重点的な取組	
新規		一具体的な取組内容一	
	•	・地域の二一ズを把握し、介護事業所連絡会、見守り協力事業者と協力しながら課題解決に取り組んでいく。	
-		・地域内の多問題ケースの現状を把握し、当事者や家族支援に必要な情報を収集すると共に、関係機関や社会資源とのつながりを構築する。	
	•	・第4期地域福祉保健計画の初年度として支援チームで連携しながら、計画の周知と多世代が関われる取り組みの創出を支援する。	
	•	・個別ケースの事例検討会、地域ケア会議を積み重ね、地域支援に係る地域ケア会議を開催する力を養う。	
	•	・コロナ禍における生活課題を意識し、住民の心身の健康や安心感につながる事業を実施する。	
事第	美報		
	振り	0返り	
なが は 利 ゴ 博	る所して報	じめに、包括の主任ケアマネジャーを配置できて五職種が揃い、職種間の連携が強化された。地域ケア会議を2年ぶりに開催し、次回につ	
_		からのコメント	
職	員位	▶制も整い、地域に積極的に出ていくことで住民の想いを受け止め、日頃の関係づくり、多様なネットワークの構築に熱心に取り組んでいま	

令和3年度もコロナ感染防止のため、諸室の貸出しや相談業務、各種事業の実施など年度を通じて流動的な対応が求められました。そうした中でも、地区別計画の推進を通じた地域づくりに向けて、区役所や区社会福祉協議会とも連携しながら、各種の取組にご尽力頂きました。引き続き、地域の皆様の期待に応えられるよう、適切・健全な施設運営をお願いいたします。

す。緊急性の高いケース、見守りが必要なケースは職種間で密に情報共有がされ、区と包括支援センターで役割分担しフットワーク良く対応出来ています。介護予防の取組みでは、普段参加しない層へも個別にアプローチするなど、開催方法や周知を工夫し実施しています。今後は更なる地域活動の情報収集と生活支援体制整備事業の連携も視野に入れた活動が出来ると良いと考えます。包括、ケアプラザが一丸となって、地域ケア会議の開催することが出来ました。次年度は内容を精査し、何度か地域ケア会議を積み重ねる中で、地域課題を抽出し、解決に向けた取組みが展開